

平成 2 6 年 度
事 業 報 告 書

事業年度 自 平成 2 6 年 4 月 1 日
(第 5 期) 至 平成 2 7 年 3 月 3 1 日

公益社団法人日本パブリックゴルフ協会
東京都中央区銀座一丁目 1 9 番 1 6 号

(A 0 0 1 8 9 1)

平成26年度事業報告書目次

■協会の概要	
1. 当法人の現況に関する事項	1
2. 役員等に関する事項	6
3. 会計監査人に関する事項	7
4. 業務の適正を確保するための体制等の整備についての決議	7
5. その他の重要事項	9
■公益目的事業1. ゴルフ競技会開催事業	
1. 開催競技及び競技参加者数	10
2. 平成26年度競技の改善点	11
3. 競技開催実績	11
4. 他団体競技のシード権の追加	19
5. 機関紙の発行	21
■公益目的事業2. ゴルフ普及振興事業	
1. セミナー・研修事業	22
2. 交流・協力事業	22
3. 調査・研究事業	23
4. 他団体との協賛・後援	23
■その他の事業1. 収益事業 ハンディキャップ普及振興事業	
1. ハンディキャップ普及振興事業	24
2. JGAコースレート査定事業	24
■その他の事業2. 助成金事業	25
■むすび	25

事業報告書の附属明細書目次

■役員以外の法人等の業務執行理事との重要な兼職の状況	26
■その他の記載事項	26

監事の監査報告事項

■監事の監査報告事項	28
------------	----

■協会の概要

1.当法人の現況に関する事項

(1)事業の経過及びその成果

単位:千円・%

事業別	予算額	決算額	達成率
事業費			
公益目的事業	160,224	147,665	92.1
その他の事業	29,750	29,737	99.9
法人会計	17,025	12,300	72.2
合計	206,999	189,702	91.6
経常増減額			
公益目的事業	▲1,404	▲3,424	
その他の事業	15,558	7,937	
法人会計	▲2,000	3,747	
合計	12,154	8,260	

注1) その他の事業(定款第5条):ハンディキャップ普及振興事業並びに助成金事業

(2)資金調達等の状況

- ①資金調達 :なし
- ②設備投資 :なし

(3)直前3事業年度の財産及び損益の状況

単位:千円

区分	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 (当該事業年度)
経常増減の部	▲3,526	▲2,085	8,260
経常外増減の部	▲7,433	0	0
正味財産増減額	▲10,958	▲2,085	8,260
正味財産期末残高	27,983	25,898	34,158

直近の損益状況は、平成24年度及び平成25年度は競技参加者数が減少し競技参加料収入は大幅予算未達となり、経常増減の部は赤字となった。平成26年度は、競技参加人数の減少に歯止めが掛らず減少したが、地区決勝・全日本大会で参加料の徴収、経常費用の圧縮を行い黒字となった。

(4)主要な事業内容

事業	主要な内容
公益目的事業(定款第4条) 【公益目的事業 1】 ゴルフ競技会開催事業	国民の健康の保持増進、余暇活動の充実、青少年の健全な育成等豊かな国民生活の実現への寄与を目的とし、アマチュアゴルファーによるゴルフ競技会を開催して、生涯スポーツのゴルフの普及振興を図る事業
公益目的事業(定款第4条) 【公益目的事業 2】 ゴルフ普及振興事業	国民の健康の保持増進、余暇活動の充実、青少年の健全な育成等豊かな国民生活の実現への寄与を目的とし、ゴルフに関するセミナー・研修、交流・協力、調査・研究事業を行い、生涯スポーツであるゴルフの普及振興を図る事業
その他の事業(定款第5条) 【収益事業】	ゴルフは老若男女、年齢、性別を問わず同じ土俵(同一条件)で楽しめるスポーツである。そのための前提となる公平な統一

ハンディキャップ普及振興事業	ハンディキャップの普及振興事業、及びその前提となるコースレート査定事業
その他の事業(定款第5条) 【助成金事業】	ゴルフの普及振興を目的に活動する団体を支援する観点から助成する事業

(5) 事業体系

事業	実施事業
【公益目的事業 1】 ゴルフ競技会開催事業	1.スクラッチ競技
	(1)全日本パブリックアマチュアゴルフ選手権競技 (パ選・女子パ選)
	(2)全日本シニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技 (シニア、女子シニア、ミッドシニア)
	(3)全日本パブリックミッドアマチュアゴルフ選手権競技
	2.アンダーハンディ競技
	(1)PGSスポンサー杯/PGSハンディ杯
	(2)PGSドリーム・エイジゴルフ大会
(3)その他(月例杯、クラブ対抗戦、スロープレート競技等)	
【公益目的事業 2】 ゴルフ普及振興事業	1. セミナー・研修事業
	2. 交流・協力事業
	3. 調査・研究事業
【その他の事業 1】 収益事業 ハンディキャップ普及振興事業	1. 公平な統一ハンディキャップの普及振興事業
	2. コースレート査定事業
【その他の事業 2】 助成金事業	1. ゴルフの普及振興を目的とした助成金事業

(6) 主たる事務所の状況

名称	所在地
公益社団法人日本パブリックゴルフ協会事務局	東京都中央区銀座1-19-16 銀座昭和ビル2階 B 室

(7) 主要な借入先及び借入額

借入先	借入額	償還期限等
なし		

(8) 重要な契約に関する事項 : なし

(9) 会員に関する事項

① 会員数

単位: 団体

種類	前年度末	当年度末	増減
正会員	81	81	0
賛助会員	7	10	+3
合計	88	91	+3

②地区別正会員数

単位:団体

東日本地区	中部日本地区	西日本地区	北海道・青森地区	合計
36	10	32	3	81

③入退会の状況

単位:団体

	区分	会員数	会員名
入会	正会員	5	富士ヘルスカントリークラブ(東日本地区) サンクチュアリ久慈ゴルフクラブ(東日本地区) ムーンレイクゴルフクラブ茂原コース(東日本地区) JGMゴルフクラブ宇都宮コース(東日本地区) サンクチュアリ霞南ゴルフ倶楽部(東日本地区)
	賛助会員	4	株式会社関電エネルギーソリューション ゴルフライフ株式会社 株式会社宮本商行 株式会社フローベル
退会	正会員	5	ひぐち時津カントリークラブ(西日本地区) ニセコビレッジゴルフコース(北海道・青森地区) たかはるゴルフクラブ(西日本地区) メロポリタン倶楽部(中部日本地区) 上武ゴルフ場(東日本地区)
	賛助会員	1	株式会社関電エネルギーソリューション

④会員数の推移

単位:団体

年度	正会員			賛助会員		
	入会	退会	会員数	入会	退会	会員数
平成24年度	1	3	81	2	0	8
平成25年度	3	3	81	0	1	7
平成26年度	5	5	81	4	1	10

⑤正会員の變動

ア. 運営会社変更

会員名	新運営会社	旧運営会社
水島ゴルフリンクス	株式会社チュウブ	株式会社水島ゴルフリンクス
湯村カンツリークラブ	株式会社マックアース	美樹工業株式会社
小淵沢カントリークラブ	株式会社アルテミス	遠山偕成株式会社
八千代ゴルフクラブ	常和不動産株式会社	常和ゴルフマネジメント株式会社

イ. 会員名変更

新会員名	旧会員名
ウィーゴカントリー倶楽部	篠ノ井ゴルフパーク:ウィーゴ

(10)職員に関する事項

平成27年3月31日現在

職名等	氏名	就任年月日	担当事務	備考
事務局次長	中村 知則	平成21年4月 1日	競技担当	常勤
一般事務	中村 敦史	平成26年8月21日	競技担当	常勤
一般事務	小路 美智代	平成20年5月 1日	経理・財務担当	常勤
一般事務	村松 洋子	平成17年3月14日	総務担当	常勤

(11) 役員会等に関する事項

① 平成26年度定時社員総会

定時社員総会	開催日	開催場所
	平成26年6月25日	ホテルレオパレス名古屋
(議事事項)		
決議事項	第1号議案	役員改選(案)承認の件
	第2号議案	平成25年度事業報告(案)承認の件
	第3号議案	平成25年度財務諸表及び附属明細書並びに財産目録(案)承認の件
	第4号議案	定款の変更(案)承認の件
	第5号議案	退任常勤理事に対し退職慰労金支給の件
	第6号議案	役員等報酬規程の改定の件
報告事項	第1号議案	平成26年度事業計画書報告の件
	第2号議案	平成26年度正味財産増減予算報告の件

② 理事会

	開催日	開催場所
第1回	平成26年6月6日	(決議省略)
第2回	平成26年6月25日	ホテルレオパレス名古屋
第3回	平成26年11月20日	三井ガーデンホテル千葉
第4回	平成27年3月12日	ホテルグランヴィア岡山

③ 全国運営委員会

	開催日	開催場所
第1回	平成26年8月22日	大阪ガーデンパレス
第2回	平成27年2月17日	ホテルレオパレス名古屋

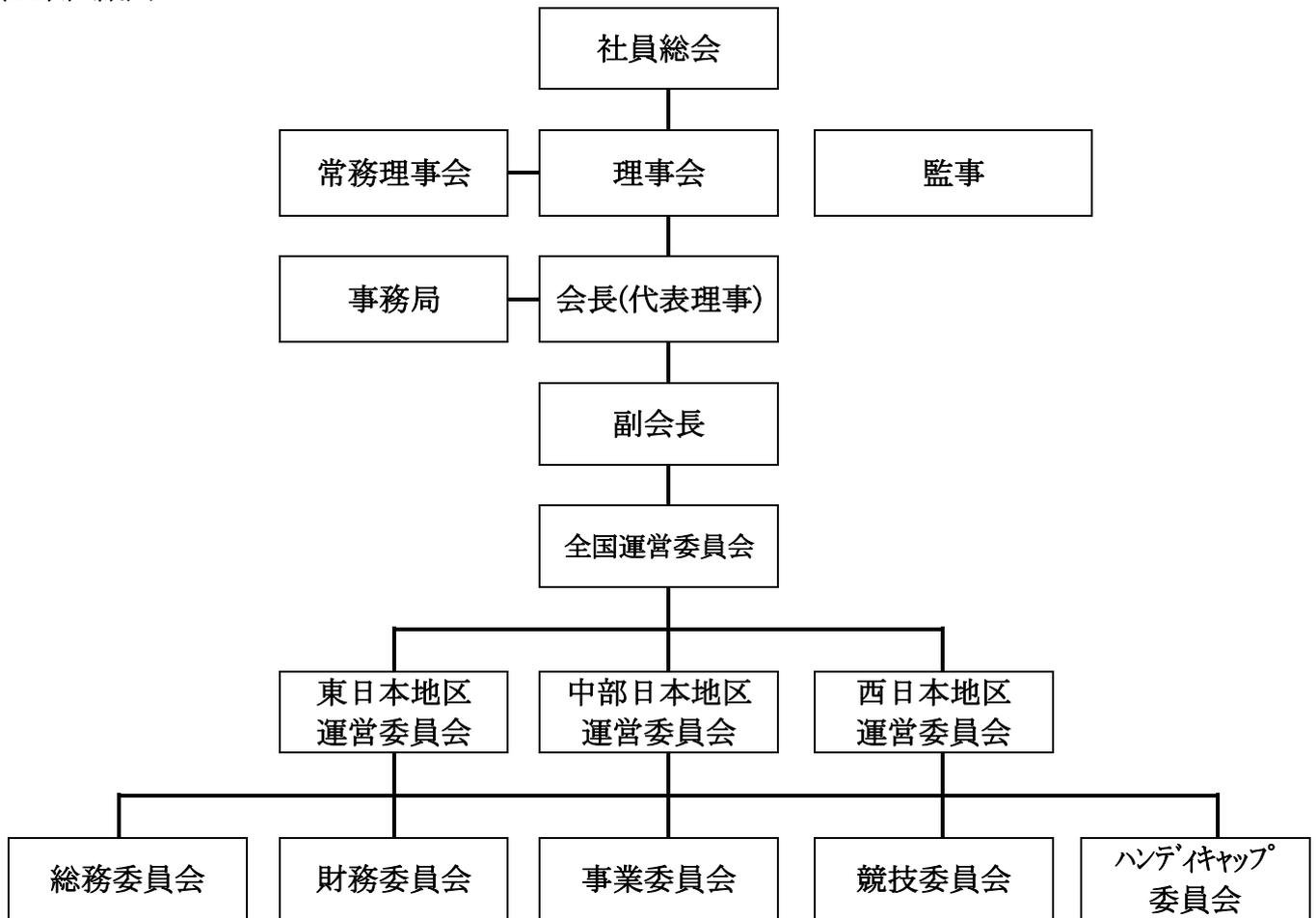
④ スポンサー会議

	開催日	開催場所
第1回	平成26年10月10日	東京コンベンションホール

⑤ 監事監査

	開催日	実施場所・内容
第1回	平成27年 5月26日	協会事務局 平成26年度決算報告書の監査他

(12)組織図



(13)許可、認可、承認等に関する事項

申請年月日	申請事項	許可等年月日	備考
なし			

(14)株式の保有状況 :なし

(15)対処すべき課題

①競技参加者数の拡大

競技参加者数は平成19年度をピークとして、以降は減少傾向にある。平成26年度はスクラッチ競技13,960名(前年度対比1,567名減少、▲10.1%)、アンダーハンディ競技17,143名、(前年度対比1,186名減少、▲6.5%)、合計は31,103名(前年度対比2,380名減少、▲7.1%)で、残念ながら主力である3選手権競技の競技参加者数は、ここ数年の減少傾向に歯止めをかけることができなかった。

継続的な競技参加者数の減少は、収支状況並びに財政構造の悪化を招来し、協会事業の安定的運営上懸念が生じるので、競技参加者数の拡大は喫緊の課題である。公益社団法人への移行(平成22年度)を機に、平成23年度通常社員総会に於いて「今後の事業活動の基本方針」を決議し、メイン競技であるパブリック選手権を往年の1万人台の参加者数に復活、更に2万人、3万人と規模の拡大を期すとしている。なお、国内活動のみに留まることなく、海外にも目を向けた事業展開を図る方針の基、平成26年度にパブリック選手権グアム大会を初開催(於:レオパレスリゾートカントリークラブ)した。

②JGA/USGA ハンディキャップインデックス取得者の拡大

当協会のJGA/USGAハンディキャップインデックス取得者は約2万名で、高額なゴルフ会員権の取得を必要とせず、誰でも低廉な登録料で手軽に取得できる点から、多くのアマチュアゴルファーの支持を得ている。

当協会の収支構造は、公益目的事業は収支トントンが目途であり、収益事業であるハンディキャップ普及振興事業の安定的運営により、協会事業活動の円滑・安定性が担保されるので、ハンディキャップ取得者の拡大も、競技参加者数の拡大と同様に喫緊の課題である。

③正会員・賛助会員の拡大

正会員100団体の実現は長年の課題であるが、直近の推移は平成21年度の90団体をピークとして、平成26年度末には81団体まで減少した。

係る状況から平成24年度第4回理事会(平成25年3月14日開催)において、「第8号議案正会員勧誘方針の件」を決義し、一層の会員勧誘活動に取り組んできたが、平成27年度も引き続き正会員の勧誘活動を積極的に推進する。

2. 役員等に関する事項

(1) 理事

平成27年3月31日現在

役職名	氏名	区分	任期	常勤・非常勤	報酬等
会長(代表理事)	三野 哲治	代表理事	H26.6～H28.6	非常勤	無償
副会長 事業委員会委員長	石井 信成	常務理事	H26.6～H28.6	非常勤	無償
副会長 競技委員会委員長	加藤 義孝	常務理事	H26.6～H28.6	非常勤	無償
副会長 ハンディキャップ委員会委員長	西村 潔	常務理事	H26.6～H28.6	非常勤	無償
専務理事	安藤 充	専務理事	H26.6～H28.6	常勤	有償
総務委員会委員長	三浦 光男	常務理事	H26.6～H28.6	非常勤	無償
財務委員会委員長	大田 英二	常務理事	H26.6～H28.6	非常勤	無償
事業委員会副委員長	林 一郎	常務理事	H26.6～H28.6	非常勤	無償
事業委員会副委員長	濱口 正明	常務理事	H26.6～H28.6	非常勤	無償
事業委員会副委員長	六車洋二郎	常務理事	H26.6～H28.6	非常勤	無償
競技委員会副委員長	神戸 誠	常務理事	H26.6～H28.6	非常勤	無償
競技委員会副委員長	久保田英示	常務理事	H26.6～H28.6	非常勤	無償
競技委員会副委員長	森 章次	常務理事	H26.6～H28.6	非常勤	無償
ハンディキャップ委員会副委員長	西 治彦	常務理事	H26.6～H28.6	非常勤	無償
ハンディキャップ委員会副委員長	小野 和彦	常務理事	H26.6～H28.6	非常勤	無償
	伊藤 哲夫	理事	H26.6～H28.6	非常勤	無償
	木村 妙子	理事	H26.6～H28.6	非常勤	無償
	久保田誠一	理事	H26.6～H28.6	非常勤	無償
	小林 弘実	理事	H26.6～H28.6	非常勤	無償
	中元紘一郎	理事	H26.6～H28.6	非常勤	無償
	平山 伸子	理事	H26.6～H28.6	非常勤	無償
	雪野 智世	理事	H26.6～H28.6	非常勤	無償

以上22名

(注)理事の他の法人等の代表状況等、並びに兼職状況は「事業報告の附属明細書」に記載した。

(2) 監事

平成27年3月31日現在

	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等
監事	菅野 孝男	H26.6～H28.6	非常勤	無償
監事	吉田 章	H26.6～H28.6	非常勤	無償
監事	豊原 正嗣	H26.6～H28.6	非常勤	無償

以上3名

(注)監事の他の法人等の代表状況等、並びに兼職状況は「事業報告の附属明細書」に記載した。

(3) 役員等の報酬等

区分	人数	報酬等の総額	備考
専務理事	1名	非公開(個人情報)	常勤

3. 会計監査人に関する事項

当協会は、会計監査人の設置義務なし(公益法人認定法第5条第12号)

4. 業務の適正を確保するための体制等の整備についての決議

(1) 平成25年度第1回理事会(平成25年6月10日開催)にて決議

(2) 理事会決議の内容

企業統治体制「業務の適正を確保するための体制等の整備について」

① 企業統治体制の採用理由

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(以下、一般法という)(第90条第4項5)は、「業務の適正を確保するための体制」、いわゆる企業統治体制(内部統制システム)の構築を定めている。当協会は、ゴルフの普及振興という事業活動目的の下、社会からの信頼を得ることの重要性を認識し、適法・適正かつ効率的な事業活動を遂行するため、一般法および法務省令(法人法施行規則第14条)に基づき、「業務の適正を確保するための体制」を以下の通り定める。

② 業務の適正を確保するための体制の概要

当協会の理事会は、理事22名(平成27年3月31日現在)で構成している。業務執行に関しては、会長(代表理事)を含む、各事業部門を統括する常務理事(各委員会委員長5名、及び各委員会副委員長8名)があたっており、常務理事及び理事並びに理事会の機能及び責任を明確にするとともに、急激な事業活動環境の変化に迅速に対応するため、当該企業統治の体制を採用する。

当協会の理事会は原則として年3回開催し、必要に応じて臨時理事会を開催しつつ、重要事項の決定、業務執行状況の監督を行っている。さらに、一般社員(会員)と利益相反が生じる怖れのない外部理事7名(平成27年3月31日現在)、並びに外部監事1名(平成27年3月31日現在)を確保し、事業活動の妥当性の監督強化を行っている。

監事については、いずれも会計業務に精通した監事3名で構成され、その内の1名は外部監事であり、各監事及び内部監査機能を有機的に融合させ、企業統治の適正性の確保を図っている。なお、会計業務は外部の会計事務所に委託し、適正性を維持している。

以上により、現状の体制によって事業運営の透明性の確保、理事の第三者説明責任の遂行と

いった、企業統治の基本原則を順守できるものとする。

③「業務の適正を確保するための体制等の整備」の内容

ア. 理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

- (ア) 理事会を原則として年3回開催することに加え必要があるときは随時開催し、重要な業務執行に関する意思決定を行うとともに、理事の職務執行を監督する。
- (イ) 法令等の遵守と企業倫理の徹底は事業活動の原点であるとの認識のもと、行動規範およびコンプライアンス規程を制定する。その内容について会長(代表理事)、並びに各理事が職員への周知を図り、法令遵守をあらゆる事業活動の前提とすることを徹底する。
- (ウ) 財務報告の適正性を確保するため、会長(代表理事)および理事は職員に対し、適正な財務諸表の作成が極めて重要性を有するものであることを、あらゆる機会に認識させるよう努めるものとする。また、財務諸表作成のプロセスにおいて、虚偽記載並びに誤謬等が生じないよう各職員が相互に牽制するシステムを構築するものとする。
- (エ) 監事は、内部統制の整備状況を監査し、会長(代表理事)と定期的に情報および意見の交換を行う。

イ. 理事の職務の執行に係る情報の保管および管理に対する体制

文書管理規程を定め、理事の職務の執行に係る理事会の議事録、決裁書類並びに契約書類は、文書または電磁的記録(以下、「文書等」という)により、それぞれ法令または規程に定める期間保存・管理する。

ウ. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

- (ア) 当協会を取り巻く様々な潜在的リスクについては、それらのリスクを分析しその特性に応じた対応策を講じるとともに、定期的にその有効性について評価し必要に応じて見直しを行う。
- (イ) 各理事は、自らの職務分掌範囲のリスク管理について責任を持つとともに、協会全体に及ぶリスクに対しては、必要に応じて専門委員会を設置し総合的な対応を図る。

エ. 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

定例の理事会を年3回開催するほか、必要に応じて臨時理事会を開催し、重要事項の決定および職務執行に関する基本事項の意思決定を機動的に行う。また、理事および職員が業務分掌・職務権限規程に基づき、職務の執行が適正かつ効率的に行われる体制をとるものとする。

オ. 職員の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制

- (ア) 服務規程、コンプライアンス規程等を整備し、職員の法令・企業倫理の遵守を徹底する。
- (イ) 業務における適法・適正な手続き・手順を明示した規程類を整備し運用する。
- (ウ) 適法・適正な業務運営が行われていることを確認するため、内部監査機能による監査を実施する。

カ. 監事はその職務を補助すべき職員を置くことを求めた場合における当該職員に関する事項
当協会において、監事の職務を補助すべき職員は当面配置しない。但し、監事会から当該職員の配置を求められた場合は、専任の担当者を配置し、かつ専任者の独立性を確保する体制とする。

キ.監事の職務を補助すべき職員の理事からの独立性に関する事項

- (ア) 監事補助スタッフの職務執行については、理事の指揮命令からの独立性を確保する。
- (イ) 監事補助スタッフの人事に関する事項については、必要に応じて監事の意見を尊重する。

ク.理事および職員が監事に報告をするための体制その他の監事への報告に関する体制

- (ア) 理事および職員は、当協会に重大な影響を及ぼす事項、内部監査の実施状況に関する事項等の内容を、監事に速やかに報告する。
- (イ) 監事会による業務執行理事並びに理事、その他使用人から随時個別にヒアリングする機会を積極的に設け、さらに、会長(代表理事)および監事会との間において、定期的に意見交換する機会を設けるものとする。
- (ウ) 重要な会議には監事の出席を求めるとともに、議事録を作成する場合は、これを監事に送付する。

ケ.監事の監査が実行的に行われることを確保するための体制

- (ア) 監事は業務執行状況を把握するため、理事会に出席するほか、必要に応じ重要な会議に出席できる。
- (イ) 会長(代表理事)と監事との定期的な意見交換の実施や、内部監査部署と監事との緊密な関係などにより、当協会の業務の適正性確保のため必要な措置を講じることができるものとする。

以上に関連する規程・規則等は、平成23年度第1回理事会(平成23年6月13日開催)に於いて決議したものであり、これに基づき実施している。

5.その他の重要事項 :なし

■公益目的事業1 ゴルフ競技会開催事業

1. 開催競技及び競技参加者数

(1) 競技参加者数

競技			H25年度	H26年度	前年度比 (人数) (%)		
<スクラッチ競技>							
①パ選 (パ選、女子パ選)	男女別	男子	5,808	5,186	▲622	▲10.7%	
		女子	821	820	▲1	▲0.1%	
		計	6,629	6,006	▲623	▲9.4%	
	地区別	東日本	3,013	2,808	▲205	▲6.8%	
		中日本	1,289	1,135	▲154	▲11.9%	
		西日本	2,222	1,962	▲260	▲11.7%	
		北海道・青森	103	59	▲44	▲42.7%	
		グアム	—	40	40	—	
		全日本シード	2	2	0	0.0%	
			計	6,629	6,006	▲623	▲9.4%
②シニア (シニア、女子シニア、ミッドシニア)	男女別	男子	1,530	1,408	▲122	▲8.0%	
		女子	311	304	▲7	▲2.3%	
		ミッドシニア	962	1,011	49	5.1%	
		計	2,803	2,723	▲80	▲2.9%	
	地区別	東日本	1,004	1,026	22	2.2%	
		中日本	951	866	▲85	▲8.9%	
		西日本	846	829	▲17	▲2.0%	
		北海道・青森	—	—	—	—	
		全日本シード	2	2	0	0.0%	
			計	2,803	2,723	▲80	▲2.9%
③ミッドアマ	男女別	男子	5,153	4760	▲393	▲7.6%	
		女子	569	471	▲98	▲17.2%	
		計	5,722	5,231	▲491	▲8.6%	
	地区別	東日本	2,733	2,471	▲262	▲9.6%	
		中日本	1,251	1,214	▲37	▲3.0%	
		西日本	1,639	1,467	▲172	▲10.5%	
		北海道・青森	97	78	▲19	▲19.6%	
		全日本シード	2	1	▲1	▲50.0%	
			計	5,722	5,231	▲491	▲8.6%
◆スクラッチ競技計			15,527	13,960	▲1,567	▲10.1%	
<アンダーハンディ競技>							
①スポンサー杯 ／ハンディ杯	ダンロップ杯(含決勝)		2,893	2,779	▲114	▲3.9%	
	ブリヂストン杯(含決勝)		2,022	2,080	58	2.9%	
	サンレオ杯		485	745	260	53.6%	
	キャロウェイ杯		960	30	▲930	▲96.9%	
	ハンディ杯(含グラント・マンロー)		1,543	1071	▲472	▲30.6%	
②ドリーム・エイジ			747	724	▲23	▲3.1%	
③その他							

・月例杯(西日本)	8,760	8,395	▲365	▲4.2%
(中部日本:うきうき旅ゴルフ)	503	460	▲43	▲8.5%
・クラブ対抗戦(東日本)	416	417	1	0.2%
(中部日本)	—	224	224	—
・スロープレート競技(東日本)	—	218	218	—
◆アンダーハンディ競技計	18,329	17,143	▲1,186	▲6.5%
総計	33,483	31,103	▲2,380	▲7.1%

2.平成26年度競技の改善点

(1)PGS中部日本クラブ対抗戦(中部日本地区ゴルフ場対抗戦)の新設

当競技は、中部日本地区の協会競技としてスタートした。中部日本地区加盟クラブの相互親睦と競技会を通して所属クラブ意識の向上と充実したクラブライフを実現することを目的としたクラブ対抗戦で、中部日本地区加盟クラブで開催した。

(2)3選手権競技参加料の改定

パ選、シニア、ミッドアマの3選手権競技参加料を、従来の予選・地区決勝・全日本を通じて一律6,000円から、予選6,000円、地区決勝3,000円、全日本3,000円に変更した。

(3)3選手権競技の全日本シード拡充

平成26年度よりパ選、シニア、ミッドアマの3選手権競技全日本大会上位選手のシード権を下記の通り拡充した。

- ①優勝者:翌年度から5年間の全日本大会シード権
- ②第2位～第5位:翌年度全日本大会シード権

(4)PGSアンダーハンディ競技予選・地区決勝の上限ハンディキャップの変更

JGAハンディキャップ規定(USGA準拠)の変更に伴い、競技会参加時のJGA/USGAハンディキャップインデックスの上限を男子36.4、女子40.4に変更した。

(5)PGS東日本スロープレートアンダーハンディ選手権競技の新設

当競技は、ゴルフ・ウィークの取り組みとして東日本地区の協会競技としてスタート。新ハンディキャップシステムの特徴を活かした競技会を東日本地区加盟クラブ12コースで開催した。

3.競技開催実績

(1)参加資格

競技名	参加資格	年齢資格
<スクラッチ競技>		
①パ選(パ選・女子パ選)	1.ハンディキャップ20.0程度以上が望ましい 2.日本ゴルフ協会ゴルフ規則に規定されたアマチュアゴルファー 3.高等学校までに在学の生徒は、学校長・保護者等責任者の参加許可証の提出が必要	なし
②シニア(シニア)		男子55歳以上
(女子シニア)		女子50歳以上
(ミッドシニア)		男子65歳以上
③ミッドアマ		男女とも30歳以上

＜アンダーハンディ競技＞		
①スポンサー杯／ハンディ杯	PGS会員でJGA/USGAハンディキャップインデックス取得者	なし
②ドリーム・エイジ	なし	男女とも65歳以上
③その他		
・月例杯 (中部日本、西日本)	PGS会員でJGA/USGAハンディキャップインデックス取得者	なし
・クラブ対抗戦 (東日本、中部日本)		
・スロープレート競技 (東日本)	JGA/USGA ハンディキャップインデックス取得者	なし

*PGS 会員：JGA/USGA ハンディキャップインデックスの取得を目的とした会員組織で、誰でも会員になれる。

(2) 競技の概要

＜スクラッチ競技＞

①全日本パブリックアマチュアゴルフ選手権競技

ア. 平成26年度第48回全日本パブリックアマチュアゴルフ選手権競技

(ア) 予選

地区	東日本	中部日本	西日本	北海道・青森	グアム	合計
予選数	35	16	35	3	1	90
参加者数(名)	2,432	1,033	1,636	59	26	5,186

(イ) 地区決勝

地区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本 A	ウインザーパークゴルフアンドカントリークラブ	5/21(水)-22(木)	169
2.東日本 B	山中湖畔 富士ゴルフコース	5/21(水)-22(木)	164
3.東日本 C	千葉よみうりカントリークラブ	5/ 5(祝)- 6(火)	174
4.中部日本	小杉カントリークラブ	5/21(水)-22(木)	145
5.西日本 関西	マスターズゴルフ倶楽部	5/13(火)-14(水)	154
6.西日本 中国	米子ゴルフ場	5/15(木)-16(金)	90
7.西日本 四国	コート・ベール徳島ゴルフクラブ	5/15(水)-16(木)	132
8.西日本 九州	トム・ワトソンゴルフコース	5/21(水)-22(木)	130
9.北海道・青森	随縁カントリークラブ恵庭コース	8/25(月)-26(火)	38
合計			1,196

(ウ) 全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	那須野ヶ原カントリークラブ	6/18(水)-19(木)	170

イ. 平成26年度第14回全日本女子パブリックアマチュアゴルフ選手権競技

(ア) 予選

地区	東日本	中部日本	西日本	合計
予選数	16	0	25	41
参加者数(名)	377	0	327	704

(イ) 地区決勝

地区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本	イーストウッドカントリークラブ	5/8(木)	180
2.中部日本	ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場	5/8(木)-9(金)	95
3.西日本	奥津ゴルフ倶楽部	5/9(金)	155
合計			430

(ウ) 全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	北神戸ゴルフ場	6/5(水)-6/6(木)	166

②全日本シニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技

ア. 平成26年度第20回全日本シニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技

(ア) 予選

地区	東日本	中部日本	西日本	合計
予選数	19	9	22	50
参加者数(名)	568	442	398	1,408

(イ) 地区決勝

地区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本	紫あやめ36	9/25(木)-26(金)	97
2.中部日本	亀山ゴルフクラブ	9/29(月)-30(火)	78
3.西日本	よみうりゴルフ ウェストコース	9/25(木)-26(金)	83
合計			258

(ウ) 全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	トム・ワトソンゴルフコース	10/15(水)-16(木)	86

(注) 男子シニア、女子シニア、ミッドシニア : 地区決勝、全日本は同日同会場で開催。

イ. 平成26年度第20回全日本女子シニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技

(ア) 予選

地区	東日本	中部日本	西日本	合計
予選数	10	7	10	27
参加者数(名)	131	78	95	304

(イ)地区決勝

地区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本	紫あやめ36	9/25(木)-26(金)	48
2.中部日本	亀山ゴルフクラブ	9/29(月)-30(火)	20
3.西日本	よみうりゴルフ ウェストコース	9/25(木)-26(金)	28
合計			96

(ウ)全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	トム・ワトソンゴルフコース	10/15(水)-16(木)	28

(注)男子シニア、女子シニア、ミッドシニア :地区決勝、全日本は同日同会場で開催。

ウ.平成26年度第11回全日本ミッドシニアパブリックゴルフ選手権競技

(ア)予選

地区	東日本	中部日本	西日本	合計
予選数	12	9	19	40
参加者数(名)	328	347	336	1,011

(イ)地区決勝

地区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本	紫あやめ36	9/25(木)-26(金)	63
2.中部日本	亀山ゴルフクラブ	9/29(月)-30(火)	69
3.西日本	よみうりゴルフ ウェストコース	9/25(木)-26(金)	70
合計			202

(ウ)全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	トム・ワトソンゴルフコース	10/15(水)-16(木)	49

(注)男子シニア、女子シニア、ミッドシニア :地区決勝、全日本は同日同会場で開催。

③全日本パブリックミッドアマチュアゴルフ選手権競技

ア.平成26年度第8回全日本パブリックミッドアマチュアゴルフ選手権競技

(ア)予選

地区	東日本	中部日本	西日本	北海道・青森	合計
予選数(男子)	32	12	32	3	79
予選数(女子)	13	7	17	—	37
合計	45	19	49	3	116
参加者数(男子)(名)	2,245	1,118	1,319	78	4,760
参加者数(女子)(名)	226	96	149	—	471
合計(名)	2,471	1,214	1,468	78	5,231

(イ)地区決勝

地区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本 A	鹿島南蓼科ゴルフコース	7/22(火)-23(水)	160
2.東日本 B	八千代ゴルフクラブ	7/24(木)-25(金)	172

3.中部日本	名古屋港ゴルフ倶楽部(富浜コース)	7/29(火)-30(水)	171
4.西日本	グランドオークプレイヤーズコース	7/17(木)-18(金)	170
5.北海道・青森	ダイナスティゴルフクラブ	7/25(金)	41

(ウ)全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	オールドオーチャードゴルフクラブ	9/17(水)-18(木)	143

<アンダーハンディ競技>

①PGSスポンサー杯/PGSハンディ杯

ア. 予選

(ア)開催数

予選数		東日本	中部日本	西日本	合計
PGSスポンサー杯	ダンロップ杯	16	7	18	41
	ブリヂストン杯	10	5	9	24
	サンレオ杯	5	4	4	13
	キャロウェイ杯 ※H25年度繰越分	1	0	0	1
PGSハンディ杯		3(1)	5	6	14(1)
合計		35(1)	21	37	93(1)

(注)()は北海道・青森地区の開催数で、東日本の内数

(イ)参加者数

		東日本	中部日本	西日本	合計(名)
PGSスポンサー杯	ダンロップ杯	722	663	1,025	2,410
	ブリヂストン杯	475	540	687	1,702
	サンレオ杯	237	285	223	745
	キャロウェイ杯 ※H25年度繰越分	30	0	0	30
PGSハンディ杯		103	320	213	636
合計		1,567	1,808	2,148	5,523

※北海道・青森地区は東日本に含み内数

イ. 地区決勝

(ア)ダンロップ杯

地区	開催コース	開催日	参加者数(名)
東日本	八千代ゴルフクラブ	11/26(水)	118
中部日本	定光寺カントリークラブ	11/6(木)	108
西日本	西神戸ゴルフ場	11/5(水)	143
合計			369

(イ)ブリヂストン杯

地区	開催コース	開催日	参加者数(名)
東日本	千葉よみうりカントリークラブ	平成27/3/5(木)	90
中部日本	ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場	10/23(木)	150
西日本	北神戸ゴルフ場	11/27(木)	138

合計	378
----	-----

(ウ) グランドマンスリー

地区	開催コース	開催日	参加者数(名)
東日本	ムーンレイクゴルフクラブ市原コース	11/4(火)	115
中部日本	名古屋広幡ゴルフコース	11/19(水)	187
西日本	青野運動公苑アオノゴルフコース	11/12(水)	133
合計			435

②PGSドリーム・エイジゴルフ大会

高齢者の健康の保持増進への寄与は当協会の事業目的の一つであり、平成21年度より「PGSドリーム・エイジゴルフ大会」がスタートした。競技は65歳以上のゴルファーを対象とし、年齢ハンディキャップによる18ホールストロークプレーで競い、ゴルフと健康を結びつけたユニークな競技である。また、平成23年度よりゴルフ市場活性化委員会(GMAC)の後援を受けている。

ア. 予選

(ア) 開催数

予選開催数	東日本	中部日本	西日本	北海道・青森	合計
個人戦	6	8	9	—	23
団体戦	1	—	—	—	1
合計	7	8	9	—	24

※18ホール・ストロークプレー

(イ) 参加者数

	東日本	中部日本	西日本	北海道・青森	合計
個人戦	275	145	157	—	577
団体戦	33	—	—	—	33
合計	308	145	157	—	610

イ. 地区決勝

地区	開催コース	開催日	参加者数(名)
東日本	那須野ヶ原カントリークラブ	10/21(火)	39
中部日本	グランシエロゴルフ倶楽部	10/29(水)	33
西日本	つるやカントリークラブ 西宮北コース	10/27(月)	42
合計			114

※18ホール・ストロークプレー

【参考:PGSドリーム・エイジゴルフ大会チャリティ募金寄贈】

平成26年度PGSドリーム・エイジゴルフ大会のチャリティ募金額は277,261円となった。参加者の善意は、予選コース最寄の社会福祉団体、および東日本復興支援財団に寄贈した。

③その他

ア. 月例杯

(ア) PGS西日本月例杯

	関西地区	中国地区	四国地区	九州地区	合計
開催数	86	45	20	4	155
申込人数(名)	3,199	3,344	1,640	212	8,395

(注)PGS会員:ハンディキャップの取得を目的とした当協会の会員組織で、誰でも会員になれる。

(イ)PGS中部日本月例杯(みんなでうきうき旅ゴルフ)

◆予選

- A. 開催会場 :中部日本地区会員10コース
 B. 参加資格 : (a)アンダーハンディ競技 :PGS会員でJGA/USGAハンディキャップインデックスの取得者
 (b)ダブルペリア競技 :PGS会員、及びJGA/USGAハンディキャップインデックス取得を目指すアマチュアゴルファー
 C. 競技方法 : (a)18ホール・ストロークプレー(アンダーハンディ競技)
 (b)ダブルペリア競技
 D. 参加者数

	アンダーハンディ競技		ダブルペリア競技		合計
	男子	女子	男子	女子	
参加人数(名)	227	32	148	24	431

◆決勝

- A. 開催日 :平成27年3月17日(火)
 B. 開催会場 :アリジカントリークラブ 花垣コース
 C. 参加資格 :予選通過者、及び特典(多回数参加者)によるシード選手
 D. 競技方法 :18ホール・ストロークプレー(アンダーハンディ競技)
 E. 参加者数 :男性25名、女子4名、合計29名

イ. クラブ対抗戦

(ア)PGS東日本クラブ対抗戦

◆ブロック予選

- A. 参加資格:東日本地区会員コースの何れかでPGS会員登録をし、JGA/USGA ハンディキャップインデックスを取得しているアマチュアゴルファー
 B. 競技方法
 (a)18ホールストローク・アンダーハンディ競技(JGA/USGA ハンディキャップインデックス)
 (b)ハンディキャップの下限 :男子部門20.0、女子部門30.0
 (c)順位決定 :男子部門は出場選手の内、上位5名のネットスコア合計による
 女子部門は出場選手の内、上位3名のネットスコア合計による

C. 開催日・会場・出場クラブ

ブロック	出場クラブ	ブロック予選	開催日
Aブロック	那須野ヶ原、イーストウッド、ハーモニーヒルズ、ウィンザーパーク、うぐいすの森水戸、下館、オールドオーチャード	ウィンザーパークゴルフ アンド カントリークラブ	10月3日
Bブロック	古河、新玉村、前橋、上武、朝霞、妻沼、三井の森	妻沼ゴルフ場	10月2日

Cブロック	市原、市原・柿の木台、ムーンレイク鶴舞、千葉よみうり、八千代、ムーンレイク市原、紫あやめ36、新君津、デイスター	千葉よみうりカントリークラブ	10月3日
Dブロック	昭和の森、清里、小淵沢、富士見高原、篠ノ井、富士グリーンヒル、鹿島南蓼科	篠ノ井ゴルフパーク:ウィーゴ	10月1日

D. ブロック予選代表チーム

各ブロック2クラブ(1クラブ男子部門8名、女子部門5名)

注)決勝大会開催コース、前年度優勝クラブが上位2クラブに入賞した場合は、繰り下げて出場資格を付与する。

E. 参加者数

ブロック	クラブ数	男子	女子	合計
Aブロック	10	48	18	66
Bブロック	14	54	32	86
Cブロック	13	52	28	80
Dブロック	11	43	21	64
予選計	48	197	99	296
決勝	20	78	43	121
合計	68	275	142	417

◆決勝大会

A. 開催会場 :鹿島南蓼科ゴルフコース(長野県)

B. 開催日 :前夜祭 平成26年10月23日(木)
クラブ対抗戦 平成26年10月24日(金)

C. 参加資格 :①PGS 東日本各ブロック予選の男女各上位2クラブ
②決勝大会開催クラブ、及び前年度優勝クラブより各男女2クラブ

D. チーム編成 :1クラブ 男子部門8名・女子部門5名

E. 競技方法 :ブロック予選と同様

F. 参加者数 :前掲の通り

(イ)PGS中部日本ゴルフ場対抗戦

◆第1回

A. 開催会場 :名古屋港ゴルフ倶楽部(富浜コース)(愛知県)

B. 開催日 :前夜祭 平成26年3月19日(水)
クラブ対抗戦 平成27年3月20日(木)

C. 参加チーム : PGS 中部日本10コースより14チーム

D. チーム編成 :1チーム8名(男女混合)

F. 参加者数 :108名(男子:89名、女子:19名)

◆第2回

A. 開催会場 :正眼寺カントリークラブ(岐阜県)

B. 開催日 :前夜祭 平成27年3月19日(木)
クラブ対抗戦 平成27年3月20日(金)

C. 参加チーム : PGS 中部日本10コースより15チーム

D. チーム編成 :1チーム8名(男女混合)

F. 参加者数 :116名(男子:95名、女子:21名)

ウ. スロープレート競技

(ア)PGS東日本スロープレートアンダーハンディ選手権競技

- A. 開催日時 :平成26年8月7日(木)午前8時7分一斉スタート
- B. 開催会場 :PGS 東日本地区加盟12コース
- C. 参加資格 :J-sys による JGA/USGA ハンディキャップを所持するアマチュアゴルファー
- C. 参加者数 :218名(男子:180名、女子:38名)
- D. 競技方法 :18ホールストロークプレー(アンダーハンディ競技)
スロープレーティングに基づく全開催コース、全出場者による1競技
- F. 後援 : 公益財団法人日本ゴルフ協会、関東ゴルフ連盟

4.他団体競技のシード権の追加

公益財団法人日本ゴルフ協会(JGA)、関東ゴルフ連盟(KGA)他8連盟等にシード権の追加申請をし、下記のシード権が付与された。

[平成26年度新規認可]

関西ゴルフ連盟 :関西女子アマチュアゴルフ選手権 (西日本女子パ選1位)

関西シニアゴルフ選手権決勝(西日本シニア1位)

関西女子シニア選手権(西日本女子シニア1位)

【平成26年度他団体主催競技シード権一覧】

◆パブリック選手権

競技会	地区	主催団体	年度	競技会名	対象	備考
全日本	全日本	日本ゴルフ協会	当年度	日本アマチュアゴルフ選手権	上位2名	上位2名が有資格者の場合、資格の繰り下げは行わない
		中部ゴルフ連盟	当年度	中部オープンゴルフ選手権決勝	1位	中部日本地区の出場者に限る
		中部ゴルフ連盟	翌年度	中部アマチュアゴルフ選手権決勝	1位	中部日本地区の出場者に限る
地区決勝	北海道・青森	北海道ゴルフ連盟	翌年度	北海道アマチュアゴルフ選手権決勝	1位	当該地区居住者
			翌年度	北海道アマチュアゴルフ選手権予選	2~10位	当該地区居住者
			翌年度	北海道オープンゴルフ選手権予選	1~10位	当該地区居住者
		東北ゴルフ連盟	翌年度	東北アマチュアゴルフ選手権決勝	1位	当該地区居住者
					上位2名	ノン倶楽部メンバー
		翌年度	東北アマチュアゴルフ選手権青森県予選	ノン倶楽部メンバー	当該地区居住者	上位3~10位
	北海道日刊スポーツ新聞社	翌年度	日刊アマ全日本シングルプレーヤーズゴルフ選手権北海道大会	上位2名	当該地区居住者	
	東日本ABC	関東ゴルフ連盟	翌年度	関東アマチュアゴルフ選手権ブロック大会	1位	当該地区居住者
			翌年度	関東アマチュアゴルフ選手権予選	2位~10位	当該地区居住者
		日刊スポーツ新聞社	当年度	日刊アマ全日本シングルプレーヤーズゴルフ選手権関東決勝	1~2位	男子のみ
	中部日本	中部ゴルフ連盟	当年度	中部オープンゴルフ選手権決勝	1位	当該地区居住者
当年度			中部オープンゴルフ選手権予選	2位~30位	当該地区居住者	
翌年度			中部アマチュアゴルフ選手権決勝	1位	当該地区居住者	
翌年度			中部アマチュアゴルフ選手権予選	2~30位	当該地区居住者	
西日本関西	関西ゴルフ連盟	翌年度	関西アマチュアゴルフ選手権決勝	1位	当該地区居住者	
		翌年度	関西アマチュアゴルフ選手権予選	2~10位	当該地区居住者	
	サンケイスポーツ	当年度	近畿オープンゴルフ選手権	1位	当該地区居住者	
西日本中国	中国ゴルフ連盟	翌年度	中国アマチュアゴルフ選手権決勝	1位	当該地区居住者	

	西日本 四国	四国ゴルフ連盟	翌年度	四国アマチュアゴルフ選手権決勝	1位	当該地区居住者
			翌年度	四国アマチュアゴルフ選手権予選	2～3位	当該地区居住者
	西日本 九州	九州ゴルフ連盟	翌年度	九州アマチュア選手権決勝	1位	当該地区居住者
			翌年度	九州アマチュア選手権予選	2～5位	当該地区居住者

◆女子パブリック選手権

競技会	地区	主催団体	年度	競技会名	対象	備考
全日本	全日本	日本ゴルフ協会	当年度	日本女子アマチュアゴルフ選手権	上位2名	上位2名が有資格者の場合、資格の繰り下げは行わない
		中京TV・BS (公認:LPGA)	翌年度	中京テレビ・ブリヂストンレディス主催者推薦選考会	1位	
地区決勝	中部日本	中部ゴルフ連盟	翌年度	中部女子アマチュアゴルフ選手権	1～20位	当該地区居住者
	西日本	関西ゴルフ連盟	翌年度	関西女子アマチュアゴルフ選手権決勝	1位	当該地区居住者
		四国ゴルフ連盟	翌年度	四国女子アマチュアゴルフ選手権決勝	1位	当該地区居住者

◆パブリックミッドアマチュア選手権

競技会	地区	主催団体	年度	競技会名	対象	備考	
全日本	全日本	日本ゴルフ協会	当年度	日本ミッドアマチュアゴルフ選手権	上位2名	上位2名が有資格者の場合、資格の繰り下げは行わない	
		中部ゴルフ連盟	翌年度	中部ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝	1位	当該地区居住者	
地区決勝	北海道・ 青森	北海道ゴルフ連盟	翌年度	北海道ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝	1位	当該地区居住者	
			翌年度	北海道ミッドアマチュアゴルフ選手権予選	2～10位	当該地区居住者	
		東北ゴルフ連盟	当年度	東北ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝	1位	当該地区居住者	
						ノン倶楽部メンバー	
						上位2名	
			北海道日刊 スポーツ新聞社	翌年度	日刊アマ全日本シングルプレーヤーズゴルフ選手権北海道大会	上位2名	当該地区居住者
	中部 日本		中部ゴルフ連盟	当年度	中部ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝	1位	当該地区居住者
当年度				中部ミッドアマチュアゴルフ選手権予選	2～20位	当該地区居住者	
西日本		四国ゴルフ連盟	翌年度	四国ミッドアマチュアゴルフ選手権	1位	当該地区居住者	

◆シニアパブリック選手権

競技会	地区	主催団体	年度	競技会名	対象	備考
全日本	全日本	日本ゴルフ協会	当年度	日本シニアゴルフ選手権	上位2名	上位2名が有資格者の場合、資格の繰り下げは行わない
地区決勝	中部 日本	中部ゴルフ連盟	翌年度	中部シニアゴルフ選手権決勝	1位	当該地区居住者
			翌年度	中部シニアゴルフ選手権予選	2～20位	当該地区居住者
	西日本	関西ゴルフ連盟	翌年度	関西シニアゴルフ選手権決勝	1位	当該地区居住者
		四国ゴルフ連盟	翌年度	四国シニアゴルフ選手権決勝	1位	当該地区居住者

◆女子シニアパブリック選手権

競技会	地区	主催団体	年度	競技会名	対象	備考
全日本	全日本	日本ゴルフ協会	翌年度	日本女子シニアゴルフ選手権	上位2名	上位2名が有資格者の場合、資格の繰り下げは行わない
地区決勝	中部日本	中部ゴルフ連盟	当年度	中部女子シニアゴルフ選手権	1～20位	当該地区居住者

	西日本	関西ゴルフ連盟	翌年度	関西女子シニアゴルフ選手権	1位	当該地区居住者
--	-----	---------	-----	---------------	----	---------

◆ミッドシニアパブリック選手権

競技会	地区	主催団体	年度	競技会名	対象	備考
全日本	全日本	日本ゴルフ協会	当年度	日本ミッドシニアゴルフ選手権	上位2名	上位2名が有資格者の場合、資格の繰り下げは行わない
地区決勝	中部日本	中部ゴルフ連盟	翌年度	中部ミッドシニアゴルフ選手権	1～10位	当該地区居住者
	西日本	四国ゴルフ連盟	翌年度	四国ミッドシニアゴルフ選手権決勝	1位	当該地区居住者

◆グランドマンスリー

競技会	地区	主催団体	年度	競技会名	対象	備考
地区決勝	全地区	日本ゴルフ協会	当年度	JGA杯J-sysゴルフ選手権	4名	男子AB、女子ABクラス各1名

5.機関紙の発行

当協会主催競技に関して、競技開催案内、年間競技スケジュール、競技の様様、競技成績等を盛り込んだ機関紙「PGSニュース」を年1回(2月)発行した。従来は新聞形式で発行していたが、平成24年度より、冊子形式(A4版/全56ページ)に切り替えた。

創刊41年目を迎えた「PGSニュース」は、第82号を発刊。財政悪化により、印刷、配付が困難な状況にあったが、独立行政法人日本スポーツ振興センターの平成26年度くじ助成に対する申請が通り、交付金が支給され、27,000部を印刷、配付することができた。

■公益目的事業2 ゴルフ普及振興事業

1.セミナー・研修事業

(1)平成26年度セミナー事業

日時	平成26年6月25日	テーマ	「ゴルフ市場の未来に関する仮説」
場所	ホテルレオパレス名古屋	講師	室田 明里(㈱リクルートライフスタイル研究員)

2.交流・協力事業

ゴルフ界を取り巻く環境は厳しいが、ゴルフ市場活性化のためにゴルフ界諸団体は連携・協力して様々な活動を展開する必要がある。この様な観点からゴルフ界諸団体と連携・協力して、ゴルフ市場の活性化に向けた活動を展開する。

(1)日本ゴルフサミット会議

①2014年第2回日本ゴルフサミット会議

日時	平成26年7月11日(水)	内容	2014年活動テーマの進捗報告 1. ゴルフ活性化の取り組み (1)若年層開拓を目的とした取り組み (2)ゴルフ・ウィークの取り組み 2. ゴルフ場利用税廃止運動の継続 3. 国家公務員倫理規程における「ゴルフ」の削除
場所	ANAインターコンチネンタルホテル東京		

②2014年第3回日本ゴルフサミット会議

日時	平成26年11月25日(火)	内容	2014年活動テーマの進捗報告 1. ゴルフ活性化の取り組み (1)若年層開拓を目的とした取り組み (2)ゴルフ・ウィークの取り組み 2. ゴルフ場利用税廃止運動の継続 3. 国家公務員倫理規程における「ゴルフ」の削除
場所	ANAインターコンチネンタルホテル東京		

③2015年第1回日本ゴルフサミット会議

日時	平成27年1月21日(水)	内容	2015年活動テーマの決定 1. ゴルフの活性化をはかる 2. ゴルフ場利用税廃止運動の継続 3. 国家公務員倫理規程における「ゴルフ」の削除 4. 暴力団等反社会勢力の排除
場所	ANAインターコンチネンタルホテル東京		

④ゴルフ新年会の開催

日程 平成27年1月22日(水)

場所 ANAインターコンチネンタルホテル東京

⑤日本ゴルフサミット会議 運営会議参加

(2)ゴルフ市場活性化委員会(GMAC)

①当協会はゴルフ市場活性化委員会(GMAC)の構成メンバーとして、「はじめよう」「続けよう」「もっとゴルフを」をスローガンにゴルフ業界の活性化に向けた活動をしている。平成23年度より「続けようゴルフを」にマッチする当協会の「PGSドリーム・エイジゴルフ大会」はGMACの後援を受け開催、他のテーマ「はじめようゴルフを」として「スクランブルゴルフの普及」、「もっとゴルフを」として「経済産業大臣杯全国チーム対抗戦」を各団体と連携して活動した。

②定例委員会への参加(毎月1回)

③ゴルフ市場活性化セミナーへの参画

④関西地区ゴルフ市場活性化委員会(関西 GMAC)への参加(毎月1回)

(3)NPO法人日本ジュニアゴルファー育成協議会(JGC)

同協議会の構成メンバーとして、ジュニアゴルファーの育成に連携して活動した。

(4)ジャパンゴルフフェア2015の後援・ブース出展

一般社団法人日本ゴルフ用品協会主催の第49回ジャパンゴルフフェア2015が、平成27年2月13日(金)～2月15日(日)の3日間、東京有明ビッグサイト東京国際展示場において開催された。当協会はこれを後援すると共にブースを出展し、当協会の事業活動のPRを実施した。

3.調査・研究事業

(1)調査事業

【調査・研究実績】

年度	調査・研究内容
平成26年度	平成26年度 PGS ゴルファーアンケート調査

(2)グリーンキーパー研修会

日時	平成26年4月3日(木)	場所	グランシエロゴルフ倶楽部
テーマ	管理スタッフの育成について		
講師	アリジカントリークラブ 花垣コース 矢崎 吉郎		
テーマ	コースの抱える問題点とその対策(現状)		
講師	名古屋広幡ゴルフコース 蔵地 達人		

4. 他団体との協賛・後援

(1)一般社団法人日本ゴルフ用品協会に対し後援 :第49回ジャパンゴルフフェア2015

(2)日本ゴルフサミット会議に対し協賛 :2015年ゴルフ新年会

(3)他団体競技の後援

競技名	主催者
第36回 ALL KANSAI テレビ アマチュアゴルフ選手権	(株)サンテレビジョン
第6回ウッドフレンズレディース アマ・プロゴルフ選手権競技 女子アマチュアの部	森林公園ゴルフ場運営会社(株)
第32回・第33回アオノジュニアゴルフ大会	青野運動公苑アオノゴルフコース
第23回・第24回すきっぷ 21:アオノ親子ゴルフ大会	青野運動公苑アオノゴルフコース
日刊アマゴルフ2014 全日本シングルプレーヤーズゴルフ選手権東日本大会	日刊スポーツ新聞社東京本社
日刊アマゴルフ2014 全日本シングルプレーヤーズゴルフ選手権北海道大会 全日本レディースゴルフ選手権北海道大会	北海道日刊スポーツ新聞社
2014 ハブリックダブルススクランブルゴルフ選手権	ゴルフライフアスリート選手権実行委員会

■その他の事業1 収益事業 ハンディキャップ普及振興事業

1.ハンディキャップ普及振興事業

(1)JGA/USGAハンディキャップインデックス取得者について

当協会のJGA/USGAハンディキャップインデックス取得者は約19,000名で、高額なゴルフ会員権の取得を必要とせず、誰でも低廉な登録料でPGS会員になることにより、手軽に取得できる点から多くのアマチュアゴルファーの支持を得ている。

【参考:JGA/USGAハンディキャップインデックス取得者の推移】

単位:名

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
20,262	25,451	23,471	24,663	24,974
平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	(前年度比)
23,371	20,137	19,468	18,023	(▲1,445)

【参考:JGA/USGAハンディキャップインデックスの導入状況】

平成18年4月現在(導入率72%)

平成27年3月現在(導入率96%)

	東	中部	西	合計	⇒	東	中部	西	北・青	合計
会員数	33	11	42	86		36	10	32	3	81
JGA採用	31	10	21	62		34	10	31	3	78

2. JGAコースレート査定事業

公平な統一ハンディキャップであるJGA/USGAハンディキャップインデックスの普及振興のためには、その前提としてゴルフ場のコースレーティングが正確に査定されている必要がある。当協会はコースレート査定を管轄する公益財団法人日本ゴルフ協会(JGA)に対してコースレート査定を希望する会員パブリックゴルフ場の依頼に基づき、同協会への申請窓口として機能している。平成26年度は、次の6コースでコースレート査定を実施した。

東日本地区	西日本地区	中部日本・北海道・青森地区
1. 丘の公園清里ゴルフコース 2. 昭和の森ゴルフコース	1. 姫路シーサイドゴルフコース 2. 青野運動公苑アオノゴルフコース 3. ダンロップゴルフコース	1. 亀山ゴルフクラブ

■その他の事業2 助成金事業

本事業はゴルフの普及振興のために活動する団体に対して、助成金事業を実施するものである。

1.NPO法人日本ジュニアゴルファー育成協議会(JGC)

当協議会はゴルフをツールに児童・青少年の健全な育成を目的に活動している。ジュニアゴルファーの育成は青少年の健全育成、並びにゴルファーの底辺拡大の観点から首肯でき、同協議会の活動目的に賛同して助成金事業を実施し活動をバックアップしてきた。平成23～24年度は休止したが、平成25年度より復活した。

■むすび

1.平成26年度事業の回顧と展望

平成26年度はスクラッチ競技13,960名(前年度対比1,567名減少、▲10.1%)、アンダーハンディ競技17,143名、(前年度対比1,186名減少、▲6.5%)、合計は31,103名(前年度対比2,380名減少、▲7.1%)で、残念ながら主力である3選手権競技の競技参加者数は、ここ数年の減少傾向に歯止めをかけることができなかった。

創立50周年を機に、「今後の事業活動基本方針」に沿った新たな事業分野等を検討した結果の一施策として、今後は国内だけに留まることなく海外に目を向けた事業を展開し、パブリック選手権を往年の1万人台の参加者数に復活させ、更には2、3万人と規模拡大を目指したい。

以上

事業報告書の附属明細書

1. 役員その他の法人等の業務執行理事との重要な兼職の状況

平成27年3月31日現在

区分	氏名	兼職先法人等	兼職の内容	関係
理事(代表理事)	三野 哲治	住友ゴム工業株式会社	会長	
理事	石井 信成	公益社団法人全日本ゴルフ練習場連盟	会長	
		株式会社那須野ヶ原カントリークラブ	代表取締役社長	
理事	加藤 義孝	東名ゴルフ株式会社	代表取締役社長	
理事	西村 潔	株式会社京阪ゴルフ倶楽部	理事長	
理事	三浦 光男	読売ゴルフ株式会社	代表取締役社長	
理事	大田 英二	株式会社チュウブ	代表取締役社長	
理事	六車洋二郎	株式会社コート・ベール徳島	代表取締役社長	
		公益社団法人社納税協会	理事	
理事	森 章次	株式会社アオノリゾート	代表取締役社長	
理事	伊藤 哲夫	伊藤公認会計士事務所	公認会計士	
監事	菅野 孝男	常和ゴルフマネジメント株式会社	代表取締役	
監事	吉田 章	茨城グリーン開発株式会社	代表取締役社長	
監事	豊原 正嗣	豊原会計事務所	公認会計士	

(注)当協会にとって兼職先法人等が重要な法人である、並びに当該役員が兼職先の法人等で重要な職務を担当している場合を記載している。

2. その他の記載事項

(1) 定款に定める事業内容について補足すべき重要な事項

① 正味財産の増減の状況及び財産の増減の推移について補足すべき重要な事項

ア. 経常増減の部

平成23年度は東日本大震災の影響から補正予算編成により5,638千円の黒字。平成24年度および平成25年度は引続きの競技参加者数減少から平成24年度3,526千円の赤字、平成25年度2,085千円の赤字。平成26年度も競技参加人数は歯止めが掛らず減少したが、スクラッチ競技において新たに地区決勝・全日本参加料の徴収、機関紙発行事業で助成金の交付、費用圧縮の結果8,260千円の黒字となった。

(平成26年度経常増減の部の主たる黒字要因)

- ◎競技参加料収入の予算未達 : ▲3,569千円
- ◎助成金収益 : 3,075千円
- ◎経常費用圧縮 : 8,154千円

競技	競技参加料収入 (千円)			参加者数 (名)		
	予算	実績	差異	予算	実績	差異
パ選	43,140	41,949	▲1,191	8,230	7,977	▲253
シニア	18,120	18,870	750	3,340	3,567	227
ミッドアマ	36,840	33,963	▲2,877	6,580	6,090	▲490
UH	12,150	10,649	▲1,501	7,650	6,705	▲945
ドリーム	1,300	2,550	1,250	520	724	204
合計	111,550	107,981	▲3,569	26,320	25,063	▲1,257

※参加人数は予選・地区決勝・全日本の合計人数

イ. 経常外増減の部

平成23年度は公益法人移行費用、平成24年度は同費用に加えて創立50周年記念史発行費用。平成25年度、平成26年度は経常外取引はなし。

ウ. 正味財産増減額

以上の結果、正味財産増減額の推移は平成23年度3,132千円の黒字、平成24年度および平成25年度は各10,958千円、2,085千円の赤字。平成26年度は8,260千円の黒字を計上。正味財産期末残高は平成26年度末現在34,158千円にあり、収支・財政再建が喫緊の課題である。

エ. 平成27年度の収支・財政再建策

(ア) 消費税の別途徴収(13,120千円)

(イ) 外部団体への助成金申請(1事業:申請額3,165千円)等の対策により、経常増減の部7,852千円の黒字を計画。

(2) 重要な固定資産の明細

① 特定資産

退職給付引当預金の増減額及びその残高は次の通り。

単位:円

	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当預金	1,556,414	302,052	349,400	1,509,066
退職給与引当預金	3,200,160	100,840	3,301,000	0
合計	4,756,574	402,892	3,650,400	1,509,066

② その他の固定資産

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次の通り。

単位:円

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
競技用備品	3,150,000	3,149,999	1
ソフトウェア	1,620,630	651,096	969,534
合計	4,770,630	3,801,095	969,535

③ 引当金の明細

(ア) 退職給与及び退職給付引当金の残高は次の通り。

単位:円

	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当金	1,556,414	302,052	349,400	1,509,066
退職給与引当金	3,200,160	100,840	3,301,000	0
合計	4,756,574	402,892	3,650,400	1,509,066

退職給付引当金については、別途中小企業退職金事業本部に掛金積立を行っており、平成27年3月31日現在の退職金試算額は2,956,934円となっている。

以上

公益社団法人日本パブリックゴルフ協会
会長(代表理事) 三野 哲 治



監事の監査報告事項

私たち監事は、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの第5期事業年度の、理事の職務の執行を監査致しました。その方法及び結果につき以下の通り報告致します。

1. 監事の監査の方法及びその内容

- 一 監事は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況に関する報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査致しました。また、当該事業年度に係る事業報告及び関係書類、並びに会計帳簿等、計算書類及び附属明細書につき検討致しました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書が法令又は定款に従い当該法人の状況を正しく示しているかどうかについての意見
 - 一 事業報告及び及びその附属明細書は、法令及び定款に従い協会の状況を正しく示しているものと認めます。
 - 二 計算書類及びその附属明細書は、法令及び定款に従い協会の財産及び損益の状況を、正しく示しているものと認めます。
- (2) 当該法人の理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令違反若しくは定款に違反する重大な事実があったときは、その事実
 - 一 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 監査のための必要な調査ができなかったときは、その旨及びその理由
 - 一 監査のための必要な調査を実施致しました。
- (4) 内部体制の整備についての決定又は決議(監査の範囲に属さないものを除く。)がある場合において、当該事項の内容が相当でないと認めるときは、その旨及びその理由
 - 一 当協会は、「業務の適正を確保するための体制等」に関する理事会決定又は、決議は平成25年6月10日開催の平成25年度第1回理事会にて決議した内容は相当であると認めます。

3. 監査報告を作成した日

- 一 平成27年5月26日

平成27年5月26日

公益社団法人日本パブリックゴルフ協会

監事 菅野孝男



監事 吉田章



監事 豊原正嗣



(注) 豊原正嗣は外部監事です。